

CDANEWS ～秋の特別号～

紅葉が色づくこの頃、過ごしやすい気温になってきました。今回は『秋』にちなんでCDAのスタッフ&利用者のおススメのお店と本を紹介させていただきます。

スタッフおススメのお店 ～食欲の秋～



丼バル もときつつあん

・おすすめポイント
ランチの時間は、揚げたてのから揚げや
天ぷらを載せたどんぶり物がオススメのお店。



特に**から揚げ丼**は、標準サイズでもボリュームたっぷりですが、**メガから揚げ丼**にグレードアップすると、1日分のカロリー摂取量を超えてしまうのでは…という心配も味わえます。



もちろん、**海鮮丼**など比較的あっさりメニューもあります。
がっつり食べたいときは、是非お試しください！（スタッフ F）

【お店情報】 住所：大阪府中央区大手通 1-3-7 2 階
営業時間：月～金 11:30～14:00 17:30～22:00
定休日：土日祝



どん呑（どんどん）



チキンカツランチがとってもお得です！

<おすすめ3つのポイント>

◎ボリュームミーで **800 円**

◎味も文句なし！

◎ソースの種類がとても豊富

★玉子タルタル ★おろしポン酢 ★マスタード

★味噌チーズ ★カレー ★トマト ★梅しそポン酢



場所：大阪府中央区南新町 1-4-9 昭和ビル 1F

※CDA から徒歩 5 分！中大江公園前が目印

時間：ランチ【月～金】11:30～14:00

（スタッフ M）

和と酒めし処 和っぷる

今日は和気分という方におすすめです。
ランチの定食では小鉢やお味噌汁もとても
美味しくて大満足でした。

唐揚げは大きくて食べ応えがあります。



海鮮丼は限定メニューなのでお早めに。



【お店情報】

住所：大阪府中央区北新町 2-10 ビジネスイン谷町 1F

営業時間：11:30～14:00 17:00～24:00

定休日：日祝

(スタッフ S)

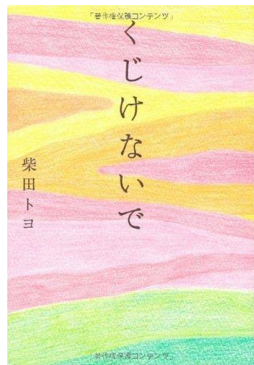
谷町四丁目界限にまだ詳しくないので「行ってみたいお店」を探索してきました！

さてここはどこでしょう？

(スタッフ N)



利用者のおススメの本 ～読書の秋～



- タイトル：『くじけないで』
- 著：柴田 トヨ
- 出版社：飛鳥新社

92歳から詩を始めた柴田トヨさんの愛情に溢れた詩集です。

作品の中で私がオススメしたいのが、息子にあてた詩「^{せがれ}倅へ」

息子に「元気だせ」とダイレクトなエールを送りつつも、「辺りの景色や鳥の囀りに耳を傾けてみなさい」といった、マインドフル（今ここ自分）な言葉も紡ぎ出されていて、トヨさんの愛情の奥深さを感じることが出来ます。

なんだかほっこりするいくつかの詩を、ひなたぼっこでもしながら読んでみてはいかがでしょうか。（S.T）



『神様の御用人』 著者 浅葉なつ 出版社 アスキー・メディアワークス

ある日、老人から御朱印帳(宣之言書)を渡される主人公《萩原良彦》。

その御朱印帳を受け取ったことで特殊な力も与えられず(神様が見える力は与えられるが)神様の悩みを解決する御用人に任命されてしまう!!

すったもんだの末に一番最初に依頼を解決した(?)キツネの姿をした方位神の《黄金》とコンビを組んで、ときには友人の神職《藤波孝太郎》の助言を受け、良彦と同じく神様が見える力を持った少女《吉田穂乃香》らと、女たらしの神様の女神様から「浮気癖のある夫を改心させてちょうだい」という浮気相談や、引きこもりの神様とTVゲーム対決をしたりさまざまな方法で、神様たちの願いを東奔西走(時には身近で…)解決してゆく内容です。シリアスなものから思わず笑ってしまう内容まで数話読み切りの短～中編集です。（S.O）



『珈琲店タレーランの事件簿』

著者：岡崎琢磨 出版社：宝島社

この本は理想の珈琲を追い求める青年が京都の一角にある珈琲店「タレーラン」の女性バリスタが解き明かす日常の謎に巻き込まれていくミステリー小説です。色んな珈琲の豆知識や種類が出てくるので珈琲好きは読んでみると面白いかもしれません。現在 6 巻まで出版されており漫画は原作 3 巻までの内容が漫画化されています。京都特有の地理からのミステリーもあるので実際に本を片手に巡ってみてはいかがでしょうか？（N.K）



『真田騒動～恩田木工～』池波正太郎 著 新潮文庫

池波文学の最も本質的なものを知るには、真田家にかかわる人々を描いたいわゆる「真田もの」を読むのが一番よいような気がする。これはほとんど池波正太郎の独壇場であり、池波正太郎が劇作家から小説家へその世界を拡大し、作家としての基盤をゆるぎないものにした記念碑的な作品群だからです。(解説より)

【感想】

史実に基づいた小説なので、若干の読みにくさはあるものの人間にとって大切なものは何かを考えさせてくれる作品でした。

大阪（豊臣家）にもゆかりのある真田家（真田幸村）のことは知る足掛かりになります。例：真田山など

「真田騒動」は真田幸村亡き後のお話ですが、有名な「真田太平記」の主人公は、実は幸村ではなく兄の真田信之という池波先生の真田家に対する深い愛情を感じます。

興味を持たれた方は「真田太平記」も、ぜひ。(S. I)



『汚れの科学 汚れはどのように発生し、どのように消えるのか』

著 者：齋藤 勝裕

出 版 社：サイエンス・アイ新書

掃除や洗濯、ヒトの体まで含む生活全般で発生する汚れと、その落とし方についてわかりやすく説明されている。ドライクリーニングではなぜ水を使わずに汚れを落とせるのか？掃除で重曹やクエン酸を使う方法がよく紹介されているが、なぜそれで汚れが落ちるのか？酸素系漂白剤と塩素系漂白剤の効果の違いは？汚れについて理解することで、効率的な落とし方と予防策を知ろう！という本。

化学の分子式も交えて解説されているが、中学・高校の理科で習う程度の知識でも理解できる内容。図や写真もついているので見やすい。

新書サイズなので、調べながら家事がしやすい点もグッド。(T. K)



『空中ブランコ』

作 者：奥田 英朗

出版社：文藝春秋

映画化やドラマ化もされている
精神科医・伊良部シリーズの第2作で、
直木賞受賞作です。

「空中ブランコ」「ハリネズミ」「義父のヅラ」
「ホットコーナー」「女流作家」の5編が
収録されています。(J. T)

